

平成23年5月21日

海星中学高等学校
校長 清水 政幸

平成22年度 学校自己評価について（報告）

記

1 平成22年度 学校自己評価結果の概要について

学校教育目標・重点目標に、「進路に応じた学力向上を目指す」・「個々に応じた進路指導の推進」をあげています。この目標を目指すために、平成22年度は、面談回数・大学説明会・大学訪問・会社訪問・学習会などの企画行事を増やすとともに、担任・教科担当者の個別指導の充実を図ることで学力向上とモチベーション維持を確保した結果、卒業生総数367名のうち大学合格者延べ376名、就職決定者29名になりました。また、「部活動の目標達成への努力」についても、テニス部（男女）・剣道（中学）が全国大会に出場いたしました。

2 保護者・生徒のアンケート結果について特筆すべきこと

保護者・生徒とともに、部活動が活発であると高い評価がありました。これは設備・指導者が充実していることがあげられると思います。また、保護者からは、挨拶・服装指導が良くできていると評価を受けた反面、女子生徒の指導について、指導の工夫が必要ではないかという指摘も受けています。本校のHPの更新について、「更新が遅い」という指摘も受けております。

3 生徒による授業評価について（実施の有無）：実施（○） 未実施（ ）

①授業評価の効果等

教師は生徒による授業評価を冷静に受け止めており、普段聞けない意見や反応などを知り自分の授業の改善に生かしています。しかし少数ですが、教師に対する誹謗中傷の意見もあります。

②評価結果の活用状況

全教師に個々のデータを手渡し、職員会議のテーマにもあげて次年度の自己申告シートに課題として提出してもらっています。

4 学校自己評価の活用状況について

校務分掌部会、学年会などにおいて分析検討し、職員会議で発表し教職員が生徒・保護者のご意見を共有できる体制を作っております。中間検討会を開き、よりよい教育環境づくりに生かしています。

5 学校自己評価の公表状況について（いつ、どのように公表したか等）

文書をもって、職員会議（平成23年3月）で全教職員に配布し評価情報の共有化を図っています。

6 学校自己評価の成果と課題について

①成果

生徒・保護者の意見・要望に対してより注意関心を払うようになり、授業・生徒指導・学校行事などの充実改善に役立っています。

②課題（今後解決すべき課題や問題点、実施上の課題等）

自己申告シート（教職員の自己目標）をもとに実施する、個人面談（上級職からの指導助言）を100名以上の教職員と年間3回ずつ実施することは時間的に厳しいところがある。

7 平成22年度 学校自己評価結果による平成23年度の課題と改善方策

①課題

生徒による授業評価アンケート、保護者による学校評価アンケート、教師による自己評価の3種類のアンケートの他に外部評価の実施を検討する時期に来ている。あわせて、調査方法の整理を図りたいと思います。

②改善方策等

学校評価委員会等で平成23年度中に検討を終えたいと思います。

平成23年度 学校目標

<p>学校経営方針</p>	<p>カトリックの教えである『神愛・人間愛』を校訓として、マリア会の特色である</p> <p style="text-align: center;">「優れた全人教育を推進する」 「家庭の精神によって教育する」 「正義と平和，奉仕を目指し教育する」 「時代への適応性と刷新を目指して教育する」</p> <p>を教育現場で具現化し，生徒の人格教育に教職員一丸となり努力する。</p>
<p>学校教育目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 目に見えるもの，移り変わっていくものの背後にある，普遍的・絶対的なものに目覚め，それへのあこがれをもって生きるように教育する。 (2) 成熟した温かい人間性をもち，社会の中で平和と喜び，そして愛を生み出す人間になるように教育する。 (3) 進路に応じた学力向上を目指す。 (4) 基本的生活習慣を身のつける指導をする。 (5) 文化・スポーツ活動を推進する。 (6) 国際社会に適応できる人材を育成する。
<p>重点努力目標</p>	<p>◎ 学園のミッションを自覚し，心豊かで，志の高い生徒を輩出するために教育の質を高める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 挨拶の徹底。 (2) 校内美化の徹底。 (3) 頭髪服装検査などの容儀指導の徹底 (4) けじめのある行動の徹底。 (5) 家庭学習の習慣化の徹底。

